

くまがや男女共同参画推進プラン年次報告書
(令和 2 年度施策別達成状況) について (概要)

1 推進プラン及び年次報告書について

くまがや男女共同参画推進プランは、3 つの大きな基本目標とその課題、課題解決のための施策の方向と施策及び各施策の具体的事業を体系化し、男女共同参画に関する各分野での施策を総合的かつ計画的に推進しようとする基本計画である。

年次報告書は、各課が所管する関連事業について、前年度実施事業の評価と今年度以降の展開をまとめ、各施策の適切な進行管理を行うために作成するものである。

2 令和 2 年度施策別達成状況について

令和 2 年度の推進プランの各関連事業は、266 事業のうち 204 事業が「順調である」「おおむね順調である」と評価され、事業全体の 76.6%が順調に推進されていることが認められた。

(1) 目標Ⅰ「人権尊重の視点に立った男女共同参画の意識づくり」について

目標Ⅰについては、3 本の主要課題に対し 18 施策 76 事業が該当した。「順調である」または「おおむね順調である」と評価した事業は 49 事業あり、主に「学校教育等における男女共同参画の推進」や「男女の性と人権を尊重する意識づくり」に関する施策において良好に進捗しており、教育現場等における男女共同参画の意識づくりが進んでいると認められる。

(2) 目標Ⅱ「あらゆる分野における男女共同参画の推進」について

目標Ⅱについては、5 本の主要課題に対し 36 施策 158 事業が該当した。「順調である」または「おおむね順調である」と評価した事業は 125 事業あり、「就労環境の整備と多様な働き方ができる環境づくり」に関する施策が良好に進捗しており、ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりや女性が働きやすい環境づくりが充実してきたことがうかがえる。

一方、「審議会等への女性の参画促進」や「防災分野における女性の参画拡大」

の取組が遅れている傾向にある。そのため、より一層の審議会や各種団体への積極的な女性登用を進め、男女共同参画の意識づくりを進めていく必要がある。

また、女性が働くために欠かせない「子育て支援の充実」についてもある程度効果を上げているが、今後も引き続き多様な保育サービスの充実や子育てに関する経済的支援に取り組んでいく必要がある。

(3) 目標Ⅲ「配偶者等からの暴力の根絶に向けた社会づくり」について

目標Ⅲについては、2本の主要課題に対し6施策32事業が該当した。「順調である」または「おおむね順調である」と評価した事業は30事業あり、「当該年度予定なし」と評価した事業は2事業であった。ほとんどの施策が良好に進捗しており、被害者及びその子に対する相談・生活支援が関係機関との連携を図りながら適切に実施されていることがわかる。

今後も引き続き、DV防止のための啓発活動、早期発見への取組、相談体制の充実等に取り組んでいく。

3 今後の取り組みについて

令和2年度は、新型コロナウイルスの流行により、中止や変更等せざるをえない事業が多数あったため、「やや遅れている」「遅れている」「当該年度予定なし」と評価する事業数が、令和元年度よりも25事業増加した。

男女共同参画社会の実現に向けて、コロナ禍における事業の実施方法等を含め、今後も効果的な事業実施に努めていく必要がある。